

第 17 期 平成 29 年度 活動報告

1. 市民協働の支援事業

(1)協働のまちづくり支援(専門家派遣) ※継続

- －御前崎市 市民活動パワーアップ講座 「効果的なプレゼンテーション」
平成29年7月29日(土) 山内代表理事が派遣
- －掛川市の平成30年度人材育成講座運営業務のプロポーザル募集に関する相談

(2)三遠南信住民ネットワーク協議会の運営支援(自主事業・一部委託事業) ※継続

- －住民ネットワーク協議会の世話人代表として世話人会に参加した。
- －三遠南信サミット2018in遠州の企画や住民セッションの企画・運営に参加した(10月開催)
サミットでは太平洋と日本海を繋ぐ「塩の道サイクルツーリズム」を重点PJとして提案した。
- －三遠南信地域連携ビジョン策定委員として新ビジョン策定に参加した。

2. 環境保全の支援事業

(1)はまなこ環境ネットワーク関連業務(委託・一部自主事業) ※継続

静岡県自然保護課と協働して「はまなこ環境ネットワーク」の事務局として、ネットワークの活動を支援するとともに、浜名湖の環境学習や保全啓発などの取組を行った。

①浜名湖情報交流事業(自主事業)

- －広報誌作成、配布(1回発行)
- －ブログやfacebookの配信、メーリングリスト配信ほか

②浜名湖環境教育プログラム実施業務(はまなこ環境カレッジ 2回)

- －第1回 8/5(土): 弁天島海浜公園・表浜名湖
(講座、アマモ場の生き物観察・アサリ養殖見学、湖上遊覧)
- －第2回 10月21日(土): 湖西市知波田 おちばの里親水公園
(里山の保全活動現場見学、いきもの観察、水質検査、スウェーデンストーブでの調理体験)



③浜名湖環境保全団体交流会開催の支援（1回）

- 実施日 2月10日（土）
- 会場 庄内協働センター（浜松市西区）
- 参加者 団体数：22 団体、参加者数：31 名
- 内容
 - ・はまなこ環境ネットワーク活動報告
 - ・情報提供（クラウドファンディング、市民協働センター情報発信サポート）
 - ・リレートーク
 - ・意見交換（グループWS）、パネル展示（試食含む）



(2) 浜名湖アマモ利用プロジェクト(はまなこ環境NW事業・自主事業)

ー浜名湖のアマモ・アオサ（海草）に関する循環の仕組みづくりを継続し、湖岸に漂着したアマモ等を畑の堆肥として活用し、市民啓発と資源再利用の拡充・定着化を図った。

- 8月5日（土）アマモ回収作業（弁天島海浜公園）
- 9月23日（土）アマモ堆肥による野菜の種まき（浜松市西区村櫛町の耕作放棄地）
 - ※NPO法人むらちゃネットが管理する畑を活用
- 12月24日 アマモ堆肥で育てた野菜の収穫（浜松市西区村櫛町）
- その他 朝日新聞コンクール小学生の「浜名湖環境新聞」作成への協力
静岡大学附属中生徒の自由研究活動への情報提供・指導



3. 地域文化の伝承・景観形成の支援事業

(1)ぐるり富士山風景街道に関する取組(自主事業)※継続

①朝霧地区景観形成ワークショップ会議でのファシリテート (9月・2月の2回)

30年度の活動内容についてワークショップで検討した。

② ぐるり富士山風景街道HPの維持管理

③ぐるり富士山風景街道一周清掃2017の企画・調整・実施

ーぐるり富士山一周清掃月間：10月1ヶ月間

ー重点区間清掃：10/1(土) 静岡県側 朝霧高原

○場 所 朝霧高原(道の駅、国道139号沿道、東海自然歩道、田貫湖周辺)

○参加者 約210名



(2)富士山朝霧高原景観管理の取組支援(自主事業・役務)※継続

ー富士山の景観を維持するための組織(道路協力団体)の除草・清掃活動とその資金を確保するための取組を支援した。

ー除草・清掃 4地区 1～2回程度(7月 1回目、9月 2回目)

ー道路空間への自動販売機設置 さわやかパーキング2基、道の駅1基(11月までの暫定)

ー読み終えた本による寄付

ー道の駅でのシーニックマルシェの開催(1回)

ーその他、応援ステッカー作成、地元野菜のキャンプセット販売などによる収益を還元する仕組みの研究をしたが、地域内の観光施設等に「おそうじ募金」の募金箱を設置した。

ー当NPOは富士山朝霧高原景観管理協議会の事務局としてその企画・調整運営と事務局など中核的な業務を担った。





(3)ぐるり富士山風景街道広報活動業務(役務) ※継続

ー富士山周辺サイクリングのネットワーク化を目指し、サイクリングルートへの検討、ルート上の情報に関する調査やサイクリングの連携会議を開催した。



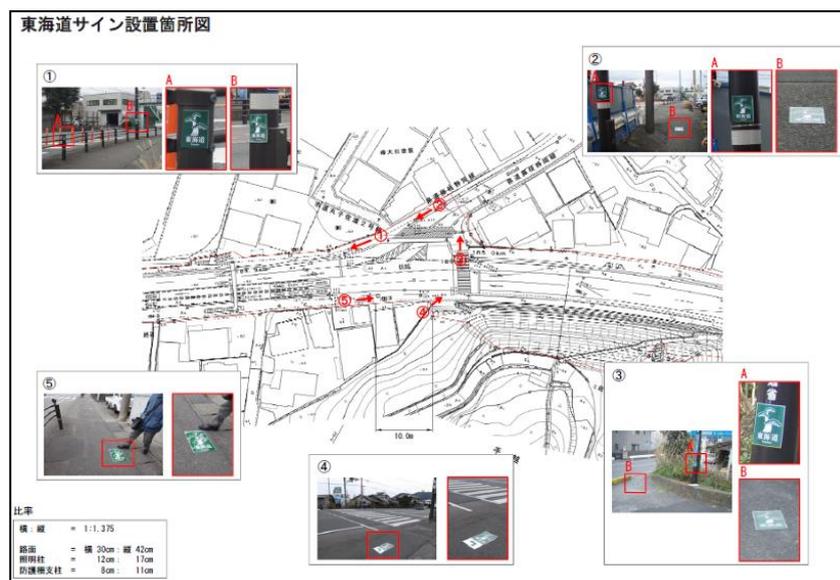
●静岡県行政連絡会による検討

- 実施日：平成30年1月25日（木）
- 場 所：静岡県富士総合庁舎 2階会議室
- 内 容：ぐるり富士山一周サイクリングルート案（静岡県側）の検討



(4) 東海道「駿河2峠6宿風景街道」に係る広報活動業務(役務) ※継続

- ー2峠6宿エリア内、旧東海道のルートがわかりにくいという現状を解消するためにルートにおけるサインを設置し、風景街道の活用・広報の強化に向けた作業を行った。
- ー29年度は、国道1号佐渡交差点に、平成28年度静岡市が策定した東海道サインのマークと方向を示す矢印を実験的に設置し、道路上におけるサイン設置のルールを策定した。



(5) 国道138号御殿場・小山地区景観形成整理業務(委託) ※継続

- ー富士山の山麓を走る国道138号の景観を形成するため、住民・事業者・行政等が協働して活動を企画・検証するワークショップを企画・運営した。
- ー対象地は国道138号の小山町須走地区及び御殿場（IC～R246までの間）の2ヶ所。
- ーワークショップは、小山町3回、御殿場3回実施する。
- ー現場で道路景観形成の具体的な活動を実施した。
- 御殿場市：殿場インター周辺から萩原区に活動場所を移して実施した(85名参加)
- 小山町：神社周辺よりも範囲を拡充し、須走IN交差点付近で行った(150名以上の参加)
- 国道138号御殿場市東山地区美化の会、ボランティアサポートプログラム協定書締結



(6) 東海道2峠6宿風景街道に関する取組(自主事業・委託) ※継続

- ー2峠6宿のまち歩きに関する情報等の提供を行うとともに、歩きやすい環境を整え、街道観光を推進した。

- ①組織の運営：静岡二峠六宿街道観光協議会の運営(自主事業+静岡市から協議会に助成金)
- ②運営資金の確保：東海道2峠6宿冊子の販売 ⇒145冊：t-ネットの収入
- ③ウォーカーへの情報発信：HPの維持作成した映像のリンク・マップ増刷(興津宿・蒲原宿)
- ④磨き上げ事業：旧東海道の標示マークの作成と配布
 - ・ガイド委員会の2回開催、民間地への東海道シールの貼付
- ⑤2峠6宿情報発信
 - 府中宿静岡祭り、丸子宿宿場祭りへの出店
 - 「遊びにおいてよIN宇津ノ谷」の実施



(7) 清水次郎長生家の管理運営業務 (補助・自主事業) ※継続

—清水次郎長生家を保存するため、平成 24 より静岡市より補助を受けて管理運営をおこなっていたが、建物の老朽化が進み改修工事が必要となってきた。平成 25 年度に商店主等が中心となる組織を立ち上げ、募金活動を行い、平成 29 年 7 月 8 日にリニューアルを完了した。



- 工事関連費用は約 3500 万円
- 平成 30 年 2 月に文化庁登録文化財に登録された
- 生家持ち主の服部氏が静岡市に寄贈したい意向を示したことにより、静岡市と調整した結果、平成 30 年 6 月 1 日より静岡市(所管文化財課)のものとなった。
- 平成 30 年 5 月 20 日に約 70 名の出席者とともに贈呈式と祝賀会を行った。
- 平成 30 年 6 月より静岡市から管理運営業務の委託事業として当法人が受託し、継続して運営実施している。



(8) 小山町 文化遺産を活かした巡拝の道づくり地域活性化事業(補助) ※継続

ー小山町 須走まちづくり推進協議会が文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」の補助金を受け、富士浅間神社を中心に「巡拝の道」ルートの設定し、現代版の富士講の“行”が体験できる環境やシステムの構築を図る事業で、この事業の実施協力を行う。

ー巡拝の道ルートの情報発信事業

○映像の作成(7点)、巡拝ルートのパンフレットの作成

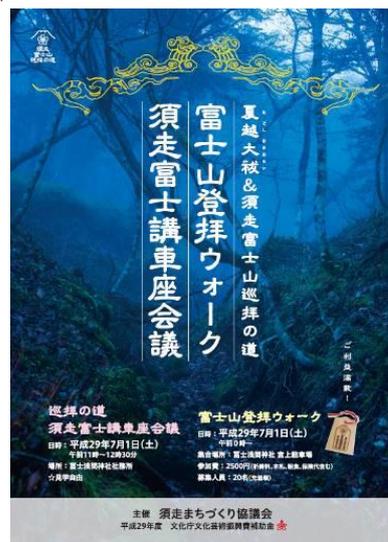
ー人材育成事業

○巡拝の道や須走地区の文化財を発信する人材を養成講座の開催

ー普及・啓発事業

○7月1日の夏越大祓いお山開きウォークの開催

○須走富士講体験プログラムの試案



(9) NPO日本風景街道コミュニティの活動への参加協力(自主事業) ※継続

ーNPO 法人日本風景街道コミュニティが開催する勉強会・セミナー、「日本風景街道大学奥能登絶景街道 珠洲キャンパス」に参加し、全国の風景街道ルートの団体と交流を図り、風景街道に関する情報を収集した。

○勉強会・セミナー(自治体連絡会・意見交換会)

・平成29年8月7日(月) 日本橋

○風景街道大学 奥能登絶景街道

・平成29年10月27日(金)・28日(土) 石川県珠洲市

ー「日本風景街道大学(奥能登絶景街道 珠洲キャンパス)」の次回開催地として、サイクルルーズリズムをテーマに平成30年度「しずおか校」が開催予定で、その開催に向けて実行委員会に参加し、準備協力している。

ーNPO 法人日本風景街道コミュニティが行う「道路協力団体」の調査研究に対して、朝霧高原景観管理協議会の事務局として情報提供した。

ーNPO 法人日本風景街道コミュニティには、法人会員として加入し、山内が理事に就任。みちのコミュニティシンクタンクの事務局として活動を支援した。

○自治体連絡会の開催

・平成30年5月15日(火) 東京・平河町

自治体連絡会の担当事務局として、開催を支援した。

4. 観光まちづくり・地域振興支援事業

(1) 中部ブロック「道の駅」連絡会事務局（委託） ※継続

- －中部ブロック「道の駅」連絡会事務局の静岡県担当として関わる。
- －総会（1回）、役員会（1回）、駅長会議（1回）、静岡県道の駅活性化会議（1回）の運営に対し、事務局を担った。
- －静岡銀行が主催する「ふじのくに道の駅フォーラム」の企画・運営に協力した。（9月開催）
- －静岡県サイクルスポーツ協議会が行うサイクルツーリズムの受入れ環境整備の検討に連絡会事務局として参加した。

(2) 浜名湖サイクルツーリズム業務（委託） ※継続

- －浜名湖サイクルツーリズム推進会議のメンバーとして関わり、サイクリストの受入れ環境をソフト・ハード面で整えていくための研究・試行・仕組みづくりに取組んだ。
 - －サイクリングの情報発信やサイン整備への協力、調整を行った。
 - －浜名湖における船や鉄道などと自転車のモーダルミックスのためのツアーを企画・実施した。
 - －NP0日本風景街道コミュニティと連携して、「ニッポン湖畔巡り自転車旅」の交流ネットワーク構築に参加した（琵琶湖、霞ヶ浦との連携）。
- 5/18・19 霞ヶ浦ミーティング（連携事業）
- －台湾とのサイクリング交流を行い、サイクルツーリズムによるインバウンド観光に取組んだ。



(3) はままつ都市型レンタサイクル事業の実施（委託） ※継続

- －浜松市中心市街地活性化のための実証実験として開設した浜松駅前JR高架下のレンタサイクルステーション「はままつペダル」の運営を担った。
- －レンタサイクルの貸出など管理運営やデータ収集・分析を行い、本設に向けて各種の実験に取り組んだ。（会員制度、ホテルや商店街等との連携など）
- －ガイド付きサイクリングの定期開催（年間5回開催）



(4) 浜名湖魅力発信隊 ホームページ管理と交流会(委託) ※継続

ー静岡県西部支援局が立ち上げた「浜名湖魅力発信隊」を紹介するWEBサイトを管理・更新した。
ー浜名湖魅力発信隊の登録団体相互が交流・連携する場として「交流会」を開催した。

日 時：平成30年3月3日(土) 14:00～16:00

場 所：舞阪協働センター 2階 講座室1

内 容：アフター直虎モデル事業の実施報告

連携活動実施団体のPRタイム

浜名湖の魅力発信についての意見交換



(5) 浜松まちなか発！浜名湖・直虎を結ぶ自転車”散走”環境調査(助成) ※新規

ー「ロコサイクリスト」と協働して、浜松駅前から直虎ゆかりの地・ロケ地を巡り、そして浜名湖へとつなぐ“散走(サイクリング)”ルートを開発し、観光客等に浜松まちなか発の自転車旅の楽しみ方やサイクリストの目線で安心・快適な自転車走行環境の改善点・改良点を提案した。

ーまちなか発！浜松・浜名湖散走マップを作成して、各所に配布した。



(6) 浜松UDツーリズム 館山寺UDマップ作成(公募・委託) ※新規

ユニバーサルツーリズムの推進を図るため、館山寺でまち歩きワークショップを実施し、調査した観光地のUDポイントやバリア、観光施設の取り組み(ハード面、ソフト面)などを掲載したマップデータを作成した。

① まち歩きワークショップ

開催日：平成 29 年 11 月 17 日

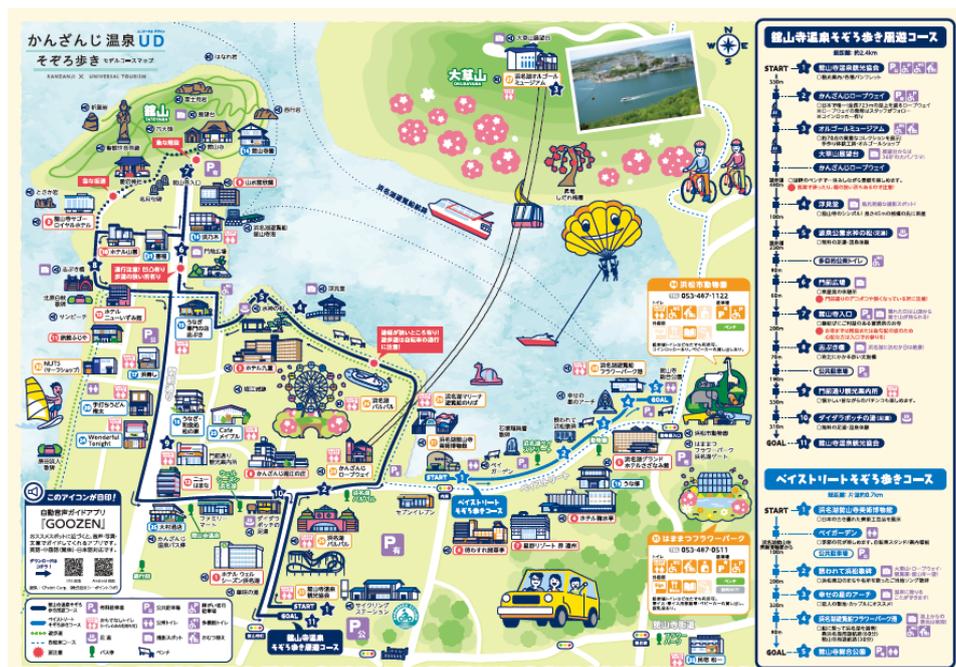
場 所：浜松市西区舘山寺町

参加者：14 人（車イス利用者、ベビーカー利用者、高齢者、外国人、浜松市、スタッフ）

② UD 観光マップデータ作成

掲載内容：舘山寺温泉の UD ポイント及びバリア、観光施設の取り組みなど

内 容：まち歩きワークショップでの情報や各施設にアンケートによる情報をまとめ、マップデータに反映させた。



(7)アフター直虎モデル事業(公募・委託) ※新規

NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」のレガシーを活かして、県西部支援局のモデル事業として、以下の事業に取組んだ。

① 外国人のガイドサイクリングのための通訳サイクリスト養成

海外からの観光客に対し母国語で説明しながら一緒に走れる「通訳サイクリスト」を養成するための実走会を開催した。

実施日 平成 30 年 2 月 11 日 (日)

- 参加者 20名
- ・静岡県で暮らす外国人又は外国語が話せる日本人（英語、中国語）
 - ・インバウンド観光やホテルに関わる仕事に従事する人
 - ・ガイドサイクリングができる地元のサイクリスト



②折りたたみ式ミニベロで天浜線&直虎ゆかりの地めぐりガイドサイクリング

浜松駅や掛川駅を起点として、スポーツ系折り畳み式ミニベロ（小径車）を使って天竜浜名湖鉄道の輪行と直虎ロケ地・ゆかりの地を巡るガイドサイクリングを行った。

実施日 平成30年1月21日（日） 館山寺～奥浜名湖

参加者 20名 ・一般サイクリスト（浜松、掛川）、ガイドサイクリスト、サポートスタッフ



(8)箱根八里街道観光の社会実験実施に関する協力(委託) ※新規

一三島市・箱根町・小田原市が国・県・経済団体や企業等と一緒に「街道観光」を推進するための組織「箱根八里街道観光協議会」が、国土交通省社会実験 旧東海道「箱根八里」街道資源の観光化に向けた交通体系強化社会実験の実施に対して、当NPOとして協力した。

① 『箱根八里』の街道歩きを支える鉄道からのモーダルコネクトの強化

○カーシェアリングの試行

（三島駅、箱根湯本、小田原駅のカーシェアで箱根八里めぐり、カーシェア乗り捨て実験）

○路線バス増便の試行(三島～元箱根)



スタンプラリーやアンケートなどで行動履歴や2次交通のニーズを探る検証を行った。

② 地域との協働による観光客の受入れ拠点（案内休憩所）

設置の試行

（山中城跡、山中区公民館、箱根エコパーキング、甘酒茶屋資料館）の4ヶ所



③ 旧東海道『箱根八里』及び国道1号の道路空間を活用した賑わいづくり

ー三島市と山中地区の商工組合、町内会等による自主事業として、フラワーポットによる東海道・景観づくり、山中城跡ガイドの配備、おもてなしイベントの実施（農家料理のふるまい）、地元農産物や土産品等の販売（箱根西麓野菜等）を行った。



ーその他、「街道観光」をテーマに日本商工会議所の地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト、観光庁の「テーマ別観光による地方誘客事業」や文化庁の調査研究事業など地域が連携して事業に取り組むための企画・実施に関して参加・協力した。

ーこの事業は、NPO法人全国街道交流会議と連携して取り組んだ。

5. 安心・安全なまちづくり支援事業

(1) 福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業(補助) ※継続

期間 平成29年6月1日～平成30年3月31日

1) 見守り・相談支援

① 相談受付・情報提供

- －窓口相談（住まい・就労・子育て・新聞の閲覧等）
- －電話での近況伺い、ニーズの聞き取り

② 避難者への訪問・個別面談（延べ12回 県内全域）

2) コミュニティ形成・促進支援

① 避難者同士及び避難者と帰還者、交流・情報交換ツアー

- －7/22～23日 避難者交流ツアー（30名朝霧高原ほか）
- －12/9 ミカン狩り交流会開催（浜松市西区井伊谷）

② 避難者同士及び避難者と帰還者、交流・情報交換会

- ・避難者交流会
- ・「ままカフェ@ふじさん」を開催
- －7/23（日）帰還者2家族を招き情報提供・交流

③ ニュースレターによる情報発信

- ・静岡県内の避難者向け広報誌「虹のおたより」の取材、編集・発行（隔月5回発行）



(2) ふれあい基金「避難者ふじのくに体験交流ツアー」(助成) ※継続

－東日本大震災で静岡県へ避難された方が少しでも明るく、生きがいを持って暮らしていただくための、交流会を開催した。

－富士山での宿泊による交流会を開催した。

－実施：8月22日（土）～23日（日） 富士宮市朝霧高原（1泊） ※バスツアー

(3) みやぎ避難者帰郷支援センター運營業務(委託) ※継続

期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

① みやぎ避難者帰郷支援センターの開設

宮城県からの委託により、震災の影響で宮城県から東海・北陸。甲信越の10県への広域避難者に対し、生活再建や帰郷に向けた情報収集及び相談窓口（電話相談を含む）を開設した。支援センターは当NPOの浜松事務所内に置いた。



② 避難者交流会・相談会の開催

各地で避難者の交流会や相談会を合計3回開催した。

(8/27 名古屋市、10月福井県あわら市、1/14 静岡市清水)

③ 宮城県支援機関（5地区）の連絡調整会議

－全国の宮城県支援機関（5地区）の連絡調整会議及び被災地視察への参加（宮城県内で開催：3回）



(4)浜松市NPO災害協定ネットワーク会議への参加(自主事業) ※継続

ー東海大震災に備えて、NPOが復旧・復興の活動の一部を市に代わって担うための浜松市とNPOが災害協定を交わし、ネットワーク構築の研究に参加した。

6.その他目的を達成に必要な事業

(1)全国街道交流会議 静岡大会の準備協力(自主事業) ※新規

ー全国街道交流会議静岡大会が平成31年2月に開催される予定で、開催に向けて関係機関と連携して準備・協力した。

(2)復興支援活動の実施(自主事業) ※継続

ーこれまで当法人として行って来た災害復興支援活動について、必要に応じて被災地・避難者の支援活動を行った(委託や補助・助成事業で賄えないものを含む)。

○被災地(南相馬・相馬市)への訪問、ボランティア活動

○岩手県(大船渡市、陸前高田氏)への訪問活動

○県内避難者の交流・相談業務(委託・補助事業期間外)